

かしの木

第50号

2012年9月号

発行 さくらまち高齢者福祉事業
かしの木編集委員会

〒184-0005

東京都小金井市桜町1-2-24

電話 042-381-1234

『ヨハネ福音書の御言葉と私』

桜町聖ヨハネホーム

園長 藤井 律治

この4月より、石山裕明前園長の後任として園長（桜町センター長兼務）に就任しました、藤井律治と申します。ヨハネホームは、26年の歴史があり、これまで実に多くの方々の祈りと犠牲そしてお支えがあり運営されてきております。微力ながら心から神様と皆様に仕えてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

私自身の事に少し触れますが、22歳の時に、カンガス神父様から受洗の恵みを頂きました。（キリスト教との出会いは、約50年前に広島三次のカトリック幼稚園に入った事からで、幼少期からアルバレス神父様・チリノ神父様などを始めとするイエズス会士より心からの指導をして頂きました。）少年期から青年期の私は、自分自身に自信がなく、劣等感の固まりでした。人の前に立つことや話すことは特に苦手なことでした。受洗前にカンガス神父様にお話しすると、聖書を取りだされ、『神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。』（ヨハネ3章16節）の御言葉を指し、『世を愛された…の【世】を【あなた】に置き換えて下さい。神様は、藤井君！あなたの為に独り子のイエス様をお与えになりました。あなたを愛されていますよ！』と笑顔で話し、更に私にヨハネという洗札名まで授けて下さいました。嬉しくなった私は、それ以降、聖ヨハネとヨハネ福音書が好きになり大事に思う様になりました。



納涼祭 —— 「子供みこし」と「わた菓子の屋台」 ——

37歳の時に、前職の児童福祉施設から聖ヨハネを大事にするこの聖ヨハネ会に来たのも不思議な縁と同時に大きな恵みを感じています。

介護保険制度下のヨハネ会高齢福祉部門は、その対応にこれまでも努力し奮闘してきたと思いますが、今後に向けて更に解決せねばならない問題や課題も多くあります。キリストの愛の精神を土台に、これからも職員や皆様と心を合わせて、より善きヨハネ会高齢福祉部門となります様に一步一步、歩んでまいりたいと思っております。ご支援とご協力そしてお祈りして頂けます様、よろしくお願い申し上げます。

目次

巻頭	新園長 藤井 律治	1P
本町センター	音楽セラピー	2P
桜町センター	活動紹介	3P
ホーム	サークル活動等	4P
職員紹介	異動職員	5P
お知らせ等		6P

桜町・本町高齢者在宅サービスセンター

2012年4月の介護保険制度改正を受け、桜町・本町センターではデイサービスの提供時間を延長することにしました。ご利用者の皆様には、これまでよりも長い時間を過ごして頂くこととなります。この為両センターで、これまで以上にサービス内容をより良いものにし、充実した時間を提供出来るよう今後も努力してゆきたいと考えています。

今回は、新たに始めた活動やお勧めの活動をここで紹介したいと思います。

認知症型デイサービス

『音楽セラピー』

桜町・本町センターの認知症型デイサービスでは、4月より音楽セラピーを導入致しました。櫻井唯乃セラピストによる音楽セラピーでは、歌を皆で歌うことだけでなく、『夏は来ぬ』を歌った後に歌詞にある季語を皆で思い出すといた記憶ゲームや、『しゃぼん玉』の歌に合わせて風船バレーを行なうなど、手足や頭を使った活動的なセラピーとなっております。ご利用者の方々も積極的に参加され、充実した時間を過ごされています。

『とんがり帽子』を皆で一緒に歌います



導入として毎回同じ歌を歌います。テーマ曲を持つことで参加される皆さんは、音楽セラピーが始まったことを自然と認識されるようです。声が徐々に大きくなっていきます。

1曲目の歌



その時期の季節やニュースにちなんだ歌を歌います。歌ったあとには自然とその季節を話題にした会話が生まれます。

2曲目の歌



手遊びやゲームを交えて、体を使った内容となっています。この頃になると声は更に大きくなって、皆さん集中して楽しんでいます。

歌謡曲を歌います

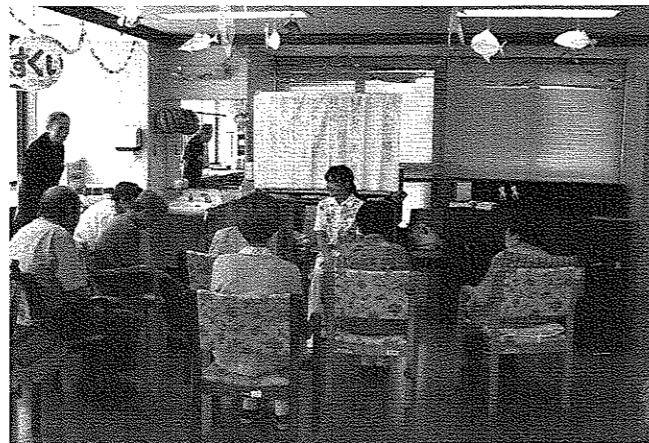


歌謡曲を5曲用意して、その中からひとり2曲選んで頂きます。票の多かった曲を歌います。

終わりの歌



『ふるさと』を毎回歌います。皆さん、それぞれ故郷を思い出して、穏やかな気持ちで歌を歌われます。



認知症型デイサービスは本町12名桜町24名の定員で行われています。音楽セラピーの時間では、ほとんどの方が参加され、休息される方はわずかです。終始楽しく暖かい雰囲気での会が進行されています。

感想文

音楽は誰でも参加できる活動です。ピアノの伴奏を聴くと、普段声を発しない方も自然と口ずさむことがあります。歌の背景にある当時の思い出がよみがえる事で会話も生まれ、ご利用者間の交流が深まる機会となります。当センターの認知症型デイサービスでは、このような機会を大切に、皆さんに来て良かったと思っ頂けるサービスを更に増やしていきたいと思っております。デイサービスの空きがまだまだありますので、興味のある方は是非お問い合わせ下さい。お待ちしております。

新しく始めた活動以外にも日々の活動には、書道・陶芸・華道・民話の語り・朗読・折紙・ウクレレ・あんでるせん・歌など…様々な活動をご用意しています。それらの中から一部活動を紹介します。

本町センター 一般型デイサービス

華道



1回1,000円で季節の花を皆さんに生けて頂きます。月に1回水曜日に行います。



流派はあまり気にせず自由に独創的な作品が生まれます。

絵手紙



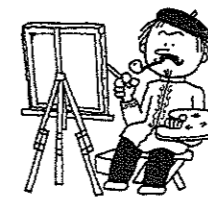
月2回土曜日に行っています。皆さん思い思いに素敵な作品をつくっています。

活動紹介

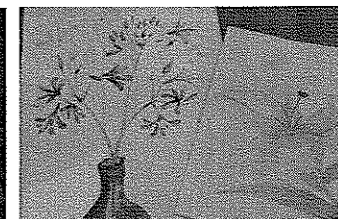
桜町センター 一般型デイサービス

水彩画

花や果物などを、先生と一緒に思い思いに描きます。



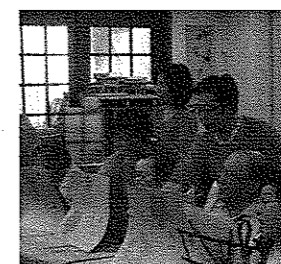
上手く描けてるかなあ…



完成！素敵に仕上がりました！

ハンドベル

「チェリーベル」の皆さんと月に1回練習に励んでいます。7月には、発表会を行いました。



素敵な音色を届けて下さいました♪



これらの活動は、大勢のボランティアさんに支えられています。ボランティアさんに感謝するとともに、利用者さんにより一層楽しんで頂けるようなデイを目指していきます！



桜町聖ヨハネホーム

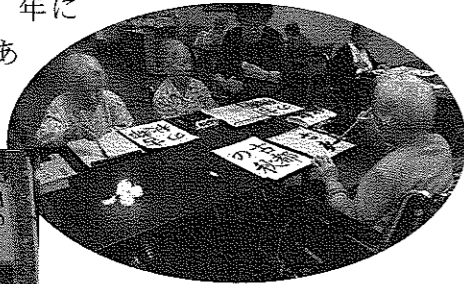
昨年度から今年に掛けて、20年以上ご利用者の皆様にお楽しみいただいていたサークル活動(手芸とアート鑑賞)が幕をとじました。ご利用者の皆様のニーズに対応し、各種の行事や趣味活動も、変貌しております。今号では、ホームでの趣味活動などをご紹介します。



(生け花サークル作品)

現役サークルの横綱：伝統と格式

書道サークルは、東の正横綱で参加希望者も多く現在は、4代目の先生をむかえて、堂々の25年、形態もほとんど変わらず、皆様筆をもたれると、泰然自若の心境でお稽古されています。西の正横綱の音楽サークルは、サークル活動のうち数少ない職員担当者付きサークルで、最大規模の参加人数を誇っています。年に一回、発表会もあります。



(書道サークル)

関協：只今 中堅 活躍中

お話ろう会では、ボランティアの皆様月に一回、パネルシアターや語りをしていただきます。又、お花見にも同行、野外活動も行います。

(パネルシアター)



引退力士たち

その時代時代のご利用者のニーズに応じて行なわれたサークル活動は、刺し子サークル、ちぎり絵サークル、クッキングサークル、カラオケ...



(音楽サークル)

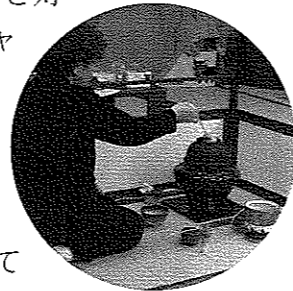
大関：趣味の筆頭

朗読サークル(1代目)、民謡サークル(2代目)、童歌(2代目)、お茶席(2代目)、絵画サークル(2代目、3代目合同)、生花サークル(4代目)ご利用者のご趣味に応じてメンバーの入れ替わりや人数の増減があり、ボランティアの皆様にお一人お一人にあった活動形態をつくっていただいております。



(朗読サークル)

日常の活動としては、認知症のあるご利用者中心のやすらぎ活動(梅酒づくり、買い物外出、散歩、園芸など)から、全利用者を対象としたボックス活動(ジャズの夕べ、カクテルの夕べ、焼き芋屋さん、など)へ移行し、ご利用者の皆様のご様子に応じて内容見直しが行われつつ、現在も深化しています。



(お茶席)

趣味のサークルとは位置づけの異なる活動では、旧称アクティビティ活動が、現在のレク活動とレクセラピーへ分化しました。また嘗てのOT・PT(理学療法士・作業療法士)配置は解消され、介護保険加算対象のリハビリ活動(機能訓練部)の一環として位置づけられ、現在は毎日の中心的な活動として、レクセラピー、音楽セラピー、適宜アニマルセラピーなどを行っています。

頑張ってます

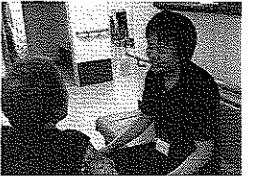
職員紹介

ヨハネホーム

生活相談員 遠藤 憲彦

今年度より生活相談員として勤務をしております。元々大学ではソーシャルワークを学んでいましたが、特別養護老人ホームの実習において、お年寄りの「強く生きる姿」に惹かれケアワークに興味を持ち、介護職としてヨハネホームに入職しました。直接介護の業務をしながら利用者さんに学び、ともに暮らしてきました。施設ケアマネジャーとして勤務していた時期も含めての15年間、様々な気づきや学びがあり、自分自身ひとまわりもふたまわりも成長したと同時に、そこ

で培われた経験は、始まったばかりの生活相談員業務の基盤となっていることは言うまでもありません。生活相談員として、これまでの経験や知識を活かし、また、今後も自分自身が成長できるように謙虚な気持ちを持って業務にあたっていきたいと思っております。わからないことだらけですが、皆さまどうぞよろしくお願いいたします。



桜町センター

事務長 樋口 昭彦

昨年4月1日付けで聖ヨハネ会桜町高齢者在宅サービスセンターに入職し、ヨハネファミリーの一員にならせていただきました。自身の年齢(?)からも、現場そのものの就業には無理があり(ご利用者様と間違われてしまう!?)、現在センターにおける事務業務全般を手掛けておりますが、福祉現場そのものから多少距離を置いた立場で現場を見ることが出来ていると思います。

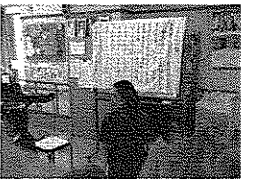
今後、自らの経験を生かし、スタッフの皆さんと意見交換しながら、ご利用者様より信頼を得、安心してご利用頂けるような運営に携わっていければ幸いです。



連携を太くする役割が期待されているところだと考えています。

入職から早や10数年、相談業務が中心でしたが、実際に通所介護に入って感じたのは各職員のスキルの高さです。本当に細やかに洞察力があり、これだけ良い仕事をしているのだから絶対に利用者ご家族に喜んでいただけると確信しています。

まだまだ配慮の足りない不東者ですが、日々反省しつつ、認知症ケアに参加したいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。



本町センター

相談員 山田 知子

今年の4月から、本町センター通所介護部の生活相談員として異動して参りました、山田です。

2年余りを過ごして得た、桜町センターでの経験や出会いを基に、今度は本町センターの一員として、今自分に求められる役割を遂行できるよう、頑張っていきたいと思っております。

まだまだ力不足ですが、皆様お力添えの程、宜しくお願いいたします。



栄養事業部 長津 宏史

改めて挨拶するのも何ですが、今年で9年めになります。「長津 宏史」といいます。4月から本町センターの食の自立支援事業の担当になりました。今までは栄養・厨房業務が主でしたが、直接利用者様と触れ合う機会がたくさん増え、いろいろな経験が出来てとてもやりがいを感じています。まだまだ、力が及ばず関係機関の方々には、迷惑をかけてばかりですが、早く利用者様の顔も覚えて逆に窓口として覚えて頂ける様に頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

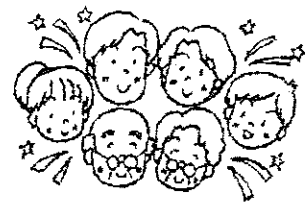


地域密着型通所介護 主任 三浦さとみ

4月に「さくらんぼデイサービス」に異動となりました。これまではケアマネージャー業務についていたもので、利用者ご家族や担当ケアマネージャーとの



さくらまち高齢者福祉事業等 関係施設ご案内



- | | |
|--|--------------------------------------|
| ♪ 桜町聖ヨハネホーム
(特別養護老人ホーム・ショートステイ) | TEL 042-381-1234
FAX 042-381-1219 |
| ♪ 桜町高齢者在宅サービスセンター
(デイサービス・訪問介護・訪問入浴・栄養事業部・居宅介護支援) | TEL 042-381-0006
FAX 042-387-2324 |
| ♪ 小金井きた地域包括支援センター | TEL 042-388-2440
FAX 042-387-2324 |
| ♪ 本町高齢者在宅サービスセンター
(デイサービス・市の配食サービス) | TEL 042-388-8011
FAX 042-388-8014 |



ことばの花束

神さまからの贈り物

神さまは人間にほほえみという美しい賜物をくださいました。人生の年輪の刻まれている人の顔がほほえみ、そのまなざしの優しさは、その人の心の深みからにじみ出る温かな人格の輝きというものでしょうか。目の輝きもほほえみも、その人の人格と生き方によってつくられてきたパーソナルな姿といったら良いのでしょうか。人とのつかの間の出会いもにこやかに、ほのぼのとしたあたたかさが伝わるような人間でありたいものです。

人格的生き方とは自己を律し、自分自身と他者の品位に対する敬意を持っている人のことです。

(顧問 sr 相松幸子)

今後の予定

- ヨハネホーム -
- 9月 8日(土) 家族会勉強会(終末期を考える)
- 9月17日(祝) 敬老会
- 11月 3日(祝) 文化の日 音楽サークル発表会
- 桜町センター -
- 9月 敬老会
- 10月 神代植物園遠足
- 11月 文化祭
- 本町センター -
- 9月29日(土) 家族介護者教室
「アロマテラピーで介護者のこころをいたわる」
- 9月10日(月) 長生会敬老交流会
- 9月16日(日) 認知症型デイ敬老会開所日
- 11月 文化祭
- ☆10月14日(日) 桜町聖ヨハネ祭

編集後記

季節は、『実りの秋』をむかえました。皆様にはいかがおすごでしょうか。

ヨハネホームでは大変遅ればせながら、2年がかりで今秋ご利用者の皆様の「住み分け」が、進んでおります。ご利用者の皆様、ご家族様をはじめ関係各位のご理解とご協力、ほんとうにありがとうございます。

紙面にもありますように、今年度当初の介護報酬改定の影響によるサービス内容の変更もあり、何かとご心配をおかけしております。まだまだ『実りの秋』とはまいませんが、ご利用者の皆様にとって、実りある人生の最後のご生活の場を少しでも、良いものにしていきたく願っております。よろしくお願ひ致します。(Y. N)

- | | | |
|-------|-------|-------------|
| 編集委員長 | 中條 洋子 | (桜町聖ヨハネホーム) |
| 編集委員 | 加藤 和野 | (桜町センター) |
| 編集委員 | 吉田 貴夫 | (本町センター) |